

トレッドミル負荷試験

ベルトコンベア上の歩行にて心臓に負荷をかける検査です。

時間とともに速度や傾斜を上げ負荷を増やしていき、運動前、運動中、運動後の心電図を比べてみていきます。動いた時に胸が痛い、しんどい、重くなるといった症状が起こる、労作性狭心症や運動によって誘発される不整脈の精査に有効です。また運動中の心拍数や血圧の変動もみることができます。

検査方法

運動前の心電図と血圧を測定します。

ベルトコンベアの上を歩いて運動します。

速度や傾斜が徐々にきつくなります。歩いて間に合わなければ走っても構いません。

医師が立ち合い、運動中も心電図と血圧を測定しながら運動を行います。

運動終了の目安となる脈拍数（年齢により異なります）に到達すれば運動終了となります。

運動後はベッドに休み、心電図と血圧が落ち着くまで様子を見ます。

検査時の注意点・お願い…

- ✚ 目標の脈拍に到達していなくても、脚がついていけない、脚が疲れた、息切れがきつい、胸の症状などの出現でも運動終了としますので、無理をせずにおっしゃってください。
- ✚ 検査中の心電図や血圧の状態により、症状が無くても医師の方から検査終了の指示をすることもありますので、医師の指示に従ってください。
- ✚ 当日の体調不良や、脚の痛み等あれば、検査前に受付や技師にお申し出ください。
- ✚ 予約検査となりますので、時間に遅れないよう到来室ください。

検査時間

約 30 分

